

羽生城跡(羽生市)

築城年代:戦国時代、築城者:広田直繁

鳥居が立っている



鳥居の先を右手に折れたところにあるのが古城天満宮(天神社)





石碑や説明板が立っている



左手の説明坂の背後には「城橋」の碑が立っている



「羽生城址」とある



指定文化財

羽生菅公廟梅樹記の碑 (史料 羽生市指定第15号 昭和39年9月9日)

天神社は菅原道真を祭る神社です。光野天満宮を総本社として全国に一万余の分祀社があるといわれています。今では学問の神様として信仰されており、「こも吹かば にはひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れず」という道真の句にちなみ梅の樹が植えられています。

この碑の撰文と書(文章をつくり、碑文を書くこと)は、江戸時代中期の著名な蘭学者の蘭館蘭番によってなされました。蘭番は寛政異学の禁により弾圧を受けた人物ですが、現在の久喜市に設立された蘭博物館に訪かれ、この碑の子孫教育に多くの影響を与えました。

天満宮の額 (史料 羽生市指定第16号 昭和39年9月9日)

この額を書いた高島姓生(1633年-1695年)は、福岡(福屋)福清郡に生まれ、母は神武、十三歳で出家し、美濃山の慧門和尚に侍奉しました。博元に招かれ寛文元年(1661)に奉目し、京都府宇治の万福寺の第五世となった高僧です。神宗の高僧の書は特に墨跡と呼ばれ重用されますが、例のいれか神社に納められていることは不思議です。

羽生城跡 (史料 羽生市指定第14号 昭和44年12月5日)

羽生城は天文年間の中頃(1540年代)に吉河公方(足利晴氏)の配下であった北田兼繁・永戸忠綱の兄弟によって築かれました。三方原の戦いで敗れた天然の要害であり、上野守佐の関東攻略の最終拠地でしたが、天正二年(1574)に落城し、徳川家の支配となりました。徳川家康の開東入国後は天文保元陣の支配となりましたが、慶長十九年の大陣の改修に伴い廃城となりました。現在石垣りまなどのものは残らず、城跡は天神廟の指定地です。

平成3年3月20日

文化財を大切に

羽生市教育委員会

これは「羽生古城之図」/沼沢地に囲まれた壮大な平城であったという



ここは天神郭跡で、羽生城の鎮守だった天満宮の地は古城と呼ばれていたのが古城天満宮と称すようだ



古城天満宮社殿



「天満宮の額」



左手前が拝殿、右奥が本殿





本殿



こんな石碑も立っていた





さて、正面は古城天満宮の西に位置する高山稲荷神社



この高山稲荷神社周辺が本丸のあったエリアらしい







参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/227hanvu/hanyu.html>

<http://umoretakojo.jp/Shiro/Kantou/Saitama/Hanyuu/>

<http://yogokun.my.coocan.jp/saitama/hanyuuisai.htm>

<http://gta-yuta.blogspot.jp/2014/08/blog-post.html>

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/saitama.kazo.hanyuu.html>

<http://ckk12850.exblog.jp/11408817>

<http://ameblo.jp/napo-iou/entry-11644536766.html>

<http://yaminabe36.tuzigiri.com/saitama2/osi2.htm>

<http://blogs.yahoo.co.jp/aganohito/32474475.html>

<http://azumino-fan.net/gyokyo-14/kisai.htm>

http://www5d.biglobe.ne.jp/~hatabo/meijyou/12_Saitama/hanvu/index.html

<http://hanarai.jugem.jp/?eid=188>

